ほうこくしんぶん

力方谷新聞

借金300億円をわずか7年で300億円の蓄財に変えた 「備中聖人」と称された山田方谷を学べる新聞です。 第21号

方谷新聞 第21号 (発行) 令和3年9月1日 (発行人) 山田方谷に学ぶ 文化人の会 (編集) 宇田川敬介 【デザイン装丁】 真栄中美樹

加藤官房長官が山田方谷を語る「山田方谷帯がドラマ化」にも言及

山田方谷のNHK大河ドラマ化に向けて「山田方谷の志を学ぶ国会議員連盟」も動き出した。

同国会議員連盟会長の加藤勝信官房長官が山田方谷に関する思いを Youtube 動画で公開した。巷間、加藤官房長官はあまり山田方谷に関して語らない。山田方谷を尊敬していないのではないか、というような声が少なからずあった。官房長官になって毎日記者会見を行っていても、山田方谷の功績や「至誠惻怛」という言葉を使うこともほとんど報道されることはなかった。

今までも、あまり山田方谷に関するイベントや公園に参加することもなかったことから、そのような声が聞かれることがあった。しかし、加藤官房長官は、多忙な中で現職の官房長官では異例の議員連盟会長就任を引き受け、また、四月の総会では山田方谷の大河ドラマ化に向けた挨拶を披露しているのである。

今まで、公務で求められる中立性を意識して「岡山県」ということをあまり出さなかった官房長官が、加藤勝信という「個人」または議員連盟の会長として、その本音を吐露したのが今回の動画なのである。

加藤官房長官は、山田方谷に関して「偉大な先人の志に学ぶところは私の政治信条にも一致しております」ということ冒頭に表明したのち、その内容として「方谷先生のもっとも大切していたものは至誠惻怛という目上の人には誠意をつくし目下のひとにも慈しみをもって接するという考え方」の重要性を強調しています。

そして「混乱と不安の時代にある 方谷先生の誠実 なお人柄がアイディアにあふれる様々な改革の実現 に結びついていったのだと思います。」と言っている。

そして、もしも山田方谷が現代に生きていたら「今の日本に単純に当てはめるのは難しいと思いますが方谷先生でしたらまずは新型コロナの感染拡大を押さえたうえで疲弊した日本経済を再考するために最新のデジタル技術を活用し世界中の人達が利用するような製品やサービスを生み出すためにリーダーシップを発揮されたことでありましょう。」というように語っているのである。



そしてNHKに対して、「今日の日本は新型コロナ感染症の拡大は 勿論のこと 度重なる自然災害、人口減少や高齢化、エネルギー問題、厳しさを増す安全保障環境など不安をもたらす課題が山積をしております。こうした先の見えない時代に多くの皆さんが大河ドラマを通じて方谷先生の改革の改革への理念、そして生き方を知ることは日本が抱える多くの困難を克服するうえできっと役に立つと思います。」というように、決して圧力とならないように要望をしているのだ。

加藤官房長官が、山田方谷に関してここまで語ることは珍しい。しかし、山田方谷に関して、ここまで深く尊敬し、そして山田方谷の志を現代の政治に活かそうとしているということを垣間見ることができるのは、非常に素晴らしいことである。

公的立場にある人が、山田方谷のためにここまで自分を出して話をしているのである。我々も奮励努力し、確実に山田方谷を大河ドラマ化を実現するためにできることを全てやってゆかなければならないのではないか。

これからが最も重要な時期になる。このチャンスを最大限に生かし、是非、山田方谷を広めてゆこう。

パソコンの方は VouTube で検索!

内閣官房長官 山田方谷

検索

スマホの方はこちらの QR コードでご覧頂けます。 内閣官房長官加藤氏が語る山田方谷 Part1 ~ Part3







-- - -·1

Pari

が 私達は、 方谷の大河ドラマ化を 希望しています!

山田方谷の名言を学ぶ城下町散策

JR 西日本と協力して実施

2



JR西日本が企画している DISCOVER WEST ハイキングで、岡山県高梁市は「山田方谷の名言を学ぶ城下町散策コース」を公開している。元々は本年の四月に実施する予定であったが、コロナウイルス禍の関係で延期になっていた。これを秋の連休、いわゆるシルバーウィークに実施する計画で進めている。

DISCOVER WEST ハイキングでは歴史を扱っているコースは少なくないが、高梁市の「山田方谷」のように人名をコース名にしているのは、N H K 朝ドラの「水木しげる」と、大河ドラマの「明智光秀」そして山田方谷の三つだけである。こう考えると J R 西日本が、N H K のドラマで山田方谷を期待しているのではないかと思われるコース設定だ。

高梁市のコースは、駅前の観光案内所から旧城下町を 一周するコースで。「方谷の道」十二碑を回りながら山田 方谷のゆかりの地を全てガイド付きで回ることのできる 内容になっている。

このような観光ツアーの中で、高梁市の多くの人々が 山田方谷を信奉し「方谷さん」と親しみを込めて呼称して いることを多くの人に知ってもらう良い機会になるので はないかと考えている。



現在は、第20号でお知らせしたように、市内の多くには「方谷さんをを大河ドラマに」と書いた幟旗が立っており、また、方谷生どらや、方谷さん弁当など、様々な方谷グッズがあるので、お土産で観光のあと戻ってからも山田方谷に親しんでもらいたいと考えている。

今後もこのような観光企画やツアーを増やして全国に 方谷さんを広めよう。

「青天を衝け」渋沢平九郎の壮絶な最後

大河ドラマ「青天を衝け」はオリンピックで3週間、パラリンピックで 二週間放送を休止する。その休みの間に二回放送されるのであるが、そ の2回目が放送された。

前後に休みがあるということは、そこで物語の流れが途切れることになるので、そのもの辺りの作り方はかなり難しいのであるが、NHKは、巧妙にこの2回を「パリからの帰国」「戊辰戦争の渋沢栄一周辺の回想」という構成を行い、こ2回で戊辰戦争を行った。つまりオリンピック前が「江戸時代」休みの間が「戊辰戦争」、そしてパラリンピック後が明治時代というようにうまく作られている。

この間2回の戊辰戦争は、渋沢栄一の立場に立ちながら、伝聞で回想するという形式で話を進める。この事によって、戊辰戦争を渋沢栄一と関係ない状態で長く放送することもなく、渋沢の明治時代の行動に繋がるエピソード、特に、「パリで株式投資を学ぶ」ということと「渋沢平九郎の最期と渋沢成一郎と土方歳三の函館での戦い」という二つのエピソードをしっかりと描いている。そしてそれを臨場感たっぷりに伝えるために、渋沢栄一役の吉沢亮さんやその他の出演者の涙や表情という演技が非常に光っている。そのような感情の起伏をしっかりと描くことによっ



て、ドラマとして深みが出てくるのではないか。

渋沢成一郎が戦った函館では、首席老中だった板倉勝静も最後まで戦い、その後明治7年になって許されるまで備中松山には戻っていない。そしてその時に、山田方谷と再開したエピソードは非常に有名である。

山田方谷はこの時期に大久保利通から新政府への出仕を求められている頃であり、政府が山田方谷の経済的な感覚を公式に求めた時期でもあるのだ。 今後が楽しみだ。

が 私達は、
方谷の大河ドラマ化を
希望しています!

山田方谷大河ドラマ化を期待する企業や団体一覧

山田方谷の大河ドラマ化を望む 100 万人を超える人々の署名はお届けした。しかし、大河ドラマ化を望むのは人間だけではない。当然に、山田方谷のような企業や備中松山の人々のような社会ならば商売も上手くゆくし団体の目的も上手くゆく。

そのような社会の実現を望む企業や団体も少なくないのである。そこで「方谷新聞」では、全国各地の「山田方谷の大河ドラマ化を望む企業や団体」の声も積極的にご紹介したい。また皆さんの声もお聞かせ頂きたいのです。

ご支援頂いた皆様



世界一のマッサージ師横山徳三マッサージ

マッサージー筋 50 年。 心をこめてマッサージ。 長きに渡り、香港の大富豪から ご指名を受けておりました。

TEL:090-8946-3145 営業地域:横浜市内

振学出版

自費出版も行っておりますので、「ご自分の意見を出版してみたい。」「社員に信念を伝えたい。」「自分の学生に想いを伝えたい。」など、その他諸々の出版に関するアイディアがございましたら、ご遠慮なく当出版社までお問い合わせください。





東京都千代田区内神田 1-18-11 東京ロイヤルプラザ 1010

TEL:03-3292-0211 FAX:03-3292-0201

http://shingaku-s.jp/



株式会社 iプランニングKOHWA

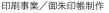
〒700-0942 岡山市南区豊成3丁目18-7 TEL.086-264-5888 FAX.086-262-1525 e-mail: info@kwp.co.jp

代表取締役 廣野 景治



SERVICE

プランニング/ブランディング/グラフィックデザイン ウェブデザイン/ロゴデザイン/パッケージデザイン





ご支援頂いた皆様

株式会社プラスエコワールド

【事業内容】 環境コンサルタント 環境アセスメント **茨城県土浦市港町 3-11-9** TEL:029-822-3488 東京都新宿区四谷4-26-6テクノ四谷5階株式会社東洋



ほうこくんカードの



一般カード

4

15 歳以上から申し込めるカード

お買い物ポイントが貯まります。

お子さん(小学生)のジュニアカードと連携させて見守りポイントが貯まります。※特典はカードにより変わります。





・シニアカード・ジュニアカード

受付・カード発行場所 ポルカプラザ (1F 西側入口すぐ)





〒716-0045 岡山旭宣沙市市區

岡山県高梁市中原町1084-1 TEL:0866-22-7171



NPO法人 平成牛麓舎

夢と希望を持てる社会「治国平天下」と物事をうまく運ぶための真心「至誠惻怛」という山田方谷の思いを通して、社会教育の推進並びに街づくりの推進に関する事業を行い、地域繁栄に寄与することを目的としています。

Matural Smile & Emergency



HAPþy

TOWN

ナチュラルスマイル&エマージェンシー 主宰

> 真栄中 美樹 Miki Maenaka

グラフィックデザイン ・アートディレクターデザインコンサルタント ・広告 ・その他

TEL:080-3800-8415 miki.lovester@gmail.com



登温報組成を照ります。 方谷の内なる正義はおれることなく、業績は前途の財政改革のみならず、…歳に多較に渡っており 校挙に限がない。…方谷に支えられて重責を果た した人々の子都の一人として、方谷の住時の労苦 は繋するに余りある。 (本書 /所文) より) 明備出版社 定備 (本株800円+ 税)

夢を駆けぬけた飛龍 山田方谷

方谷が生まれたのは 1805 年。江戸時代後期、文化・文政の文化が花開く一方、アメリカ・ロシアなどの外国船が出没していた時代である。…大きく変動する社会を生き抜いた方谷。…日本社会全体の動きを描きながら泥臭い人間関係に悩む方谷にも焦点を当てる。希望の光は「夢(大志)」だった。

明徳出版社

野島透(著)

文庫 880 円 (税込)

<募集・お問い合わせ>

あなたの山田方谷に関する記事募集

CQA14363@nifty.com 編集担当宇田川敬介まで お気軽にお問合せください











Paypalでの振込先】

方谷新聞では、広告を募集しております。また、活動への寄付も随時受付けておりますので、どうぞ、よろしくお願い致します。

方谷縁の地探訪

5

谷三十郎道場の地 **堀江公園**



山田方谷と新選組の関係はかなり深いものがある。

人の命を大切にする山田方谷と、人を斬ることを生業としていた新選組の隊士では、何か目指すものが違うような気がする人もいるかもしれないが、実際には、双方ともに農民の出身者でありまた、幕府や秩序を守るという志があったという点では非常に似通っている。それを表現する方法が学問と剣と 2 つの違う方向になってしまっていたということになるのではないか。

その 2 つの存在を近付けた存在こそが谷三十郎兄弟であろう。 元々は備中松山藩士でありながら、素行が悪いことから事件を起こ し、松山藩処払いとなる。その後大坂で道場を営み、そして新選組に 入るのである。

その谷三十郎の時代、谷兄弟は天満の八軒家に居住し、大坂の南堀江に道場を開いて、近隣の人々の兵法(武術)と学問を教えていたという。谷三十郎兄弟が不祥事で備中松山を去ったのが安政 3 年(1856年)であり、入隊は不明であるが、新選組の名簿の中に 3 人の名前が見えるのが元治元年(1864年)であることから、天満に住



み、堀江で道場を開いていたのは、最大でこの八年間ということになろう。この八年間の間は、当然に安政の地震もあれば安 政虎狼痢もあり、また、安政の大獄と桜田門外の変がある。

安政というのは年号の内容とは異なり、幕末の運命を決める大きな事件が多くある。この期間山田方谷は、安政四年に備中松山藩の元締役を辞任し、大石隼雄に職を譲ったのちに、大坂に出向いて大阪城代の家臣大久保要と開港と貨幣経済に関して議論をしている時である。当然に、大坂逗留中には、谷三十郎の道場に顔を出していると思われ、またその間に様々な話をしていると思われる。

現在大坂の堀江というだけで場所は定かではない。しかし、 天満から毎日通える場所といえば、だいたいこの堀江公園の あたりであると思われる。ここで谷兄弟や他の新選組隊士と 山田方谷は何を話したのであろうか。

さて、佐久間象山というのは、非常に頭はよく発想も実行力も素晴らし

かったが、しかし、性格はあまりよろしくなかったらしい。その性格を端的に

基礎から学ぶり山田方谷

温良恭倹譲の一字、いずれある。

山田方谷といえば、温厚でまた人に優しく、常に至誠惻怛の心をもって 人に接するというイメージがあり、現在でも「備中聖人」と言われて、多くの 人に尊敬されている。 しかし、山田方谷の人を見る目は、かなり厳しいもの

があり、その厳しい目で見たのちに、その人の素晴らしいところ、優れているところを見つけ出し、そのうえで、そこをほめて伸ばすというのが山田方谷の教育ではないか。山田方谷が人を評価するにあたり、厳しく評価しながら、その人の能力を認めるというのは、佐藤一斎塾での佐久間象山との出会いからではなかったかと思われる。それまでは、「一緒に学ぶ」といいながらも、相手を高く評価するということはあまりなく、春日潜庵や池田草庵との間に、そのようなやり取りはあまり見受けられない。友達として城を書けることはあるが、それ以上の関係ではないのである。もちろん、それだけでも普通でできることではないのである。

まり厳しいもの 表したのが、山田方谷による「温良恭倹譲の一字、いずれある」の一言である。 まさに、人間の性格の中で重要とされるこれらの言葉の一つもない、それほどひどい人間だと言ってるのである。 しかし、その学問の深さや知識の豊富さ、そしてその学問を実践するという行動力に関しては、山田方谷を凌ぐほどであり、山田方谷も、丸川松陰の言った躬行実践とはこのことであると考えたのに違いないのである。 さて、「類は友を呼ぶ」という言葉がある。その言葉が的を得ているのであれば、山田方谷も佐久間象山的な「破綻」を持っていたということになるのかもしれない。そうではないにして

も、そのような性格の人物とうまく付き合うことができ、その学問の能力を引き出すことができる人材であったということになるのではないだろうか。

私達は、

方<mark>谷の大河ドラマ化</mark>を 希望しています!

「あさが来た」の舞台



2015 年度下半期放送のNHK連続テレビ小説「あさが来た」は、平均視聴率23.5%であった。現在の「青天を衝け」の脚本家である大森美香氏の脚本で好評を博したドラマであった。

そのモデルとなった広岡浅子は、嘉永 2 年(1849 年) 生まれで、17 歳で鴻池善右衛門と並ぶ大坂の豪商であった加島屋の広岡信五郎と結婚。嫁いだ後も、主人は 手代に任せて業務に関与しない商家の風習に疑問と限 界を感じ、簿記や算術などを独学するようになる。20 歳 で明治維新の動乱を迎え、家運の傾いた加島屋を救う ため実業界に身を投じ、夫の広岡信五郎と共に、加島屋 の立て直しに奔走する人物である。関西における女性 経営者、女性実業家、そして女性社会運動家の草分け的 存在であり、ドラマ「あさが来た」では、その広岡浅子の 生涯が痛快に描かれていた。

さて、その「あさが来た」の舞台となったのが、大坂の 「加野屋」であったが、実際は「加島屋」という当時西日 本で鴻池と並び称される両替商・そして米問屋である。

この加島屋が、幕末の長州藩のスポンサーとなり、一方で新選組などにも金を貸している。幕末というと五代友厚などが良く取りざたされるが、実際にはこれら大阪商人の動きはかなり大きな影響があったのである。



もう一つの加野屋



さて、幕末加島屋は二つ存在した。上記に書いた玉水町の 久右衛門家、広岡姓と、大川町の作兵衛家、長田姓である。こ の二つの加島屋は、寛永年間に大坂で起きた両替商・米商 であり、双方ともに加島屋として行っている。当然に長い間 同じ屋号で行っていれば、様々な関連があると思われる。



この大川町加島屋は、肥後藩蔵元掛屋、宇和島藩紙方蔵元掛屋を行い、万延御用銀は鴻池、玉水町加島屋とともに最高額三〇〇〇貫目を引き受けるほどの大店であった。

その投手長田均之は、なかなかのやり手であり、安政 四年に山田方谷がこの長田を訪ね、古今の紙幣の利害を 討論している。「千有余年にわたる紙幣の利害を得失の 詩を吟じるならば、現在の財政権を持つ者の戒めになる だろう。」という結論に達し、中国歴代の紙幣の変遷を十 七首の詩にして残したのは、この長田均之との討論の帰 途のことである。

山田方谷は、この時点で貨幣の重要性と共に、その金 銭の弊害まですべてわかっていたということであるが、 この長田均之にはわからなかったのかもしれない。

同じ加島屋でも広岡浅子のいた加島屋は、明治になって公金の預かりの返納を求められ、何とかそれを乗り切り、その後加島銀行、そして大同生命へと発展することになるのであるが、長田をトップとする大川町の加島屋は、明治6年にやはり公金の即時返納を申し付けられて、それを果たすことができずに倒産廃業することになってしまっている。



同じ加島屋でありながら「紙幣の利害」を知っているか知らなかったかということで大きな違いがあった。山田方谷はそのことをよくわかっていたのかもしれない。現代も「金銭」を追い求めてしまって、有為幕行かなくなったという例は少なくない。山田方谷があれだけの財政の能力を持ちながら、理財に走らず、教育者として生涯を閉じたのは、現代の人々に様々な事を残すの

方<mark>谷の大河ドラマ化</mark>を 希望しています!

ではないか。(写真は久右衛門家加島屋)